



本気にさせる学校

副校長 池浦 也寸志

7月から新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大により、鹿児島県も多い日には5千人近くの感染者を出し、本校においても数学級を閉鎖する事態となりました。そのような中、前期後半が始まり1ヶ月が過ぎようとしています。9月に入ってからは感染者数も減少傾向にあります。まだまだ安心できる状況ではありませんが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。

運動会の予行の際に、涙を流している子どもが数名いました。理由はいろいろとあったようで、「リレーにおいて、自分が抜かれたことで組の点数が伸びなかった。」「かけっこで友達に負けて悔しかった。」など、その子どもにとってとても悔しい気持ちが原因のようでした。私は、朝礼台の上でその様子を観ていて胸にくるものがありました。結果にこだわることは大切なことです。しかし、競技が終われば、自分のもっているものを出し切れたかどうかが大切であるということをお話しました。「運動会のリレーで負けたぐらいで・・・」と大人は思いがちですが、子どもたちにとっては一大事なのでしょう。その日から、学級でバトンパスの練習をする姿や綱引きのコツを調べて実践する学級など勝負にこだわる姿が見られました。教育実習生の日誌の中には、「6年生の律動運動の見学をしていたら、子どもたちの一生懸命な姿に引き込まれ、自分も裸足になって練習に参加しました。」と書かれていました。また、小学校の運動会がこんなにも感動するものだとは思っていなかったなど、子どもたちの真剣な姿に感銘をうける実習生も多かったのではないのでしょうか。



なぜ、多くの人を感動させることになったのでしょうか。私は、子どもが『本気』で臨んでいたからだと考えます。精一杯もてる力を目的(=ま)とに向かって出し切ることが大切です。そのためには、人目をはばからず、悔しさを涙という形で表現できる子どもたちは素晴らしいと思います。

大運動会当日の閉会式、壇上から子どもたちの表情を見回しました。どの子も満足した様子で、自分のもてる力を出し切った様子が伺えました。行事に限らず日常の授業など一つひとつの場面で子どもが本気で取り組むことのできる環境を作っていくことこそ学校、教師の役目だと考えます。

運動会当日を2日後に控えた放課後、先生方に「子どもたちの『本気』に応えるべく教職員でリレーチームを作り、教育実習生と競争しませんか。」と投げかけると快く応じてくれ、当日、サプライズで先生方の「本気」をお見せすることができました。当初、監督と思っていた私も諸般の事情により走るようになったのは想定外でしたが・・・

【10月の主な行事】

7日(金) 前期終業式	22日(土) 授業力アップ講座
8日(土) 秋季休業(～16日)	26日(水) 不審者対応対策訓練
17日(月) 後期始業式	28日(金) 秋の一日遠足(1・2・3年)
18日(火) 冬服更衣準備期間(～31日)	単複交流(4年)
19日(水) 学年・学級PTA(高)	29日(土) PTAバザー
20日(木) 学年・学級PTA(中)	三芽会(～11/8)
21日(金) 学年・学級PTA(低)	

※ 鹿児島市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況によって行事の中止・変更の可能性があります。

自己有用感を高める教育活動の推進 ～「美しさ」をキーワードとして～

● みんなが感動、笑顔、美しさが溢れた日！～第72回大運動会～

スローガン **協力・挑戦 生み出す感動 笑顔のゴール!**

9月21日(水)、台風一過の秋晴れの下、第72回大運動会が開催されました。今年度も各家庭一名の参観と人数の制限はありましたが、親子での昼食が可能になるなど、コロナ禍前の大運動会に少し近付くことができました。

競技では、仲間と協力しながら粘り強く自分の役割を果たしたり、全力で走り、バトンをつないだりするといった目標に向かって挑戦する姿が見られました。表現運動では、体全身をつかって力強く動いたり、友達と動きを揃えたりする姿があり、見ている人を感動させてくれました。また、応援合戦では、団長を中心に各団の工夫を凝らした応援を全力で行い、大運動会を盛り上げる姿が見られました。さらに、係児童や大運動会実行委員会の児童もそれぞれが自分の役割を果たす姿が見られました。また、閉会式での挨拶において、代表児童は次のように述べました。「この大運動会の取組を通して、仲間と共に取り組むことや最後まで全力で挑戦することの素晴らしさを改めて学ぶことができました。」



【仲間と協力し、粘り強く綱を引く5年生の姿】

大運動会で見せたこれらの子どもたちの姿は、まさに、スローガンに込められた思いを体現した姿であり、本校が目指している「美しさ」が溢れていたと考えます。



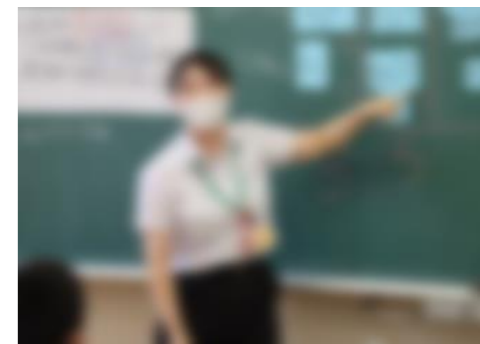
【勝利を目指し、全力で応援する応援団の姿】

この大運動会を通して経験したことを今後の遠足や宿泊的行事などに生かしていけるように、私たちがもかかわっていきたくと考えます。

● 夢や目標に向かって挑戦！～第1・2免許教育実習～

9月8日から9月30日に今年度の教育実習が行われました。3週間の教育実習の中で、実習生の子どもたちと真剣に向き合って生活指導を行う姿や授業に向けて熱心に教材研究を行う姿、緊張しながらも準備した教材や教具を用い、張り切って授業を行う姿が見られました。

教育実習の最終日には、各学級でお別れ会が行われ、子どもたちと教育実習生が互いに別れを惜しみ、涙を流す場面がありました。実習を終えた教育実習生から「教師になりたいという思いがより強くなった。」と話を聞くことができました。今回の実習を糧に、教師という夢や目標に向かって挑戦して欲しいと考えます。



【張り切って授業を行う教育実習生の姿】